

南関東防衛

平成27年
春号

平成27年春号 年4回発行 第7号



特集

- ◎ 東富士演習場使用協定の締結
- ◎ 航空機事故への対応

山下公園の氷川丸と桜／横浜市中区

第十一次東富士演習場使用協定の締結



手前から御殿場市街地、東富士演習場、富士山

静岡県御殿場市、裾野市、小山町にまたがり所在する東富士演習場は陸上自衛隊富士学校が管理する演習場で、自衛隊及び在日米軍の技量練度の維持・向上を図る上で極めて重要な施設です。

陸上自衛隊東富士演習場は、富士山の東麓に位置し、約8,800ヘクタールの広大な面積を有する本州最大の演習場で、周辺に陸上自衛隊富士駐屯地（富士学校）、滝ヶ原駐屯地、板妻駐屯地及び駒門駐屯地の4駐屯地と米海兵隊キャンプ富士を抱えており、毎年8月には富士総合火力演習が行われることでも知られています。演習場用地の約6割が民公有地となっており、昭和34年6月に国と地元との間で第一次使用協定を締結以来、10回の更新を行い、今回新たに第十一次使用協定が締結されました。

東富士演習場使用協定は、

- ①関係地方公共団体（御殿場市、裾野市、小山町）と防衛大臣との間で締結される「東富士演習場使用に伴う関係市町との行政に関する協定」、
- ②民公有地の所有者と防衛大臣との間で締結される「東富士演習場の土地等の使用に関する協定」、
- ③東富士演習場内の国有地において入会行為を行う入会組合と防衛大臣との間で締結される「東富士演習場国有入会地の使用に関する協定」、
- ④東富士演習場内の民公有地において入会行為を行う入会組合と防衛大臣と

の間で締結される「東富士演習場民公有入会地の使用に関する協定」の4協定を総称するものです。

これらの協定は、自衛隊の演習場使用と地元の民生安定及び地域開発との両立、あるいは土地所有者や入会関係者の利害関係とを調整することなどを目的としています。



防衛大臣重要会談



あいさつをする丸井南関東防衛局長



行政・権利協当事者合同会議

※入会とは、一定地域の住民が特定の権利をもって一定の範囲の森林・原野または漁場に入り、共同用益（木材・薪炭・まぐさなどの採取）すること。

入会地とは、一定の人々のあいだで入会の権利が設定されている山野・漁場など（出典：広辞苑第五版）

今回の第十一次使用協定は、平成22年3月に締結した第十次使用協定の有効期間が、平成27年3月末日をもって満了することから、平成27年4月1日以降も引き続き同演習場を使用するため、平成26年11月7日、丸井南関東防衛局長から各協定の当事者に対し申し入れました。

その後、地元側と防衛省側とで十数回にわたる協議を重ね、去る3月27日に第十次使用協定終結処理委員会、同30日に防衛大臣重要会談等を経て、同31日に開催された東富士演習場行政・権利協定当事者合同会議において地元側の了解が得られ、同日、御殿場市内において国側・左藤防衛副大臣、山本地方協力局長、丸井南関東防衛局長、武内富士学校長、静岡県・池谷くらし・環境部長、地元側・若林御殿場市長、江藤裾野市企画部長、込山小山町長、勝又東富士演習場地域農民再建連盟委員長ほか地元権利関係代表者ら多数出席のもと、調印式が執り行われ、第十一次使用協定が円満に締結されました。

この使用協定は、平成27年4月1日から平成32年3月31日までの5年間有効となります。



調印式風景（写真上段：関係者あいさつ（左から勝又東富士演習場地域農民再建連盟委員長、若林御殿場市長、左藤防衛副大臣）（写真下段：調印（左から江藤裾野市企画部長、込山小山町長、藤代地方協力局地方調整課長））

第25回防衛問題セミナー

3月24日、神奈川県横浜市立神奈川近代文学館ホールにおいて、「第25回防衛問題セミナー」を開催しました。今回のセミナーは、「今後の日中関係」をテーマに、昨年11月、日中首脳会談が実現し日中関係は関係改善に転じる一方中国軍の活動が拡大・活発化していることから、当省の研究官から説明することによって、防衛省・自衛隊への理解を得るために開かれました。

当日は、主催者である丸井南関東防衛局長から開会挨拶があり、引き続き、講演に入りました。

飯田主任研究官からは、中国の海洋進出の背景と狙い、東シナ海での対日圧力の強化、南シナ海で強まる主権・権益保護活動、米軍のプレゼンスに対する挑戦姿勢、また、安全保障秩序を巡る米中の対立などを、写真やグラフを使って分かりやすく説明しました。

聴講者は、皆一様に真剣に耳を傾け、質問も出るなどして、中国の軍事動向について、国民の関心度が高いことが伝わってきました。アンケートには、「重要且つ時宜を得たテーマと内容でした。」「（70才代男性）、「地図や写真、グラフなどで非常に分かりやすく、あつと言う間に時間が過ぎました。」「（50代男性）、「明確な説明によって中国の軍事動向が理解出来た。」「（70代男性）等の感想が寄せられました。



航空事故等への対応 — 関係機関の緊密な連携に向けた取組 —

航空事故等はあつてはならないことですが、万一発生した場合に備え、南関東防衛局は関係機関とともに相互の緊密な連携に努めております。ここではその取り組み等を紹介します。



航空事故等連絡協議会の開催

1月27日、第28回航空事故等連絡協議会年次総会を南関東防衛局において開催し、日米の19機関から約80名が出席しました。本協議会は、神奈川県下における米軍又は自衛隊による航空事故その他不測の事故及び事故に伴う災害が発生した場合に備え、関係機関相互の迅速な連絡調整体制を整備し、総合的な応急対策の実施について連絡協議することを目的とするものです。

冒頭、当局の長谷川管理部長の挨拶の後、用具業務課長から事故等発生時の連絡通報について説明し、続いて神奈川県基地対策課の館野グループリーダーから航空事故等発生時における神奈川県への対応について説明をしていただきました。そのほか、南関東防衛局による通報訓練への取り組みについて説明し、最後に、在日米海軍司令部のニーマイヤ政務補佐官から在日米軍として安全飛行のための整備点検及びパイロットへの教育等の徹底に努めることなどの事故対応等について説明していただきました。

当局としては、平素からの関係機関による連絡協議を行うことで、緊急の事故通報や総合的な応急対策を円滑にできるものと考えており、引き続き相互の緊密な連携に努めてまいります。



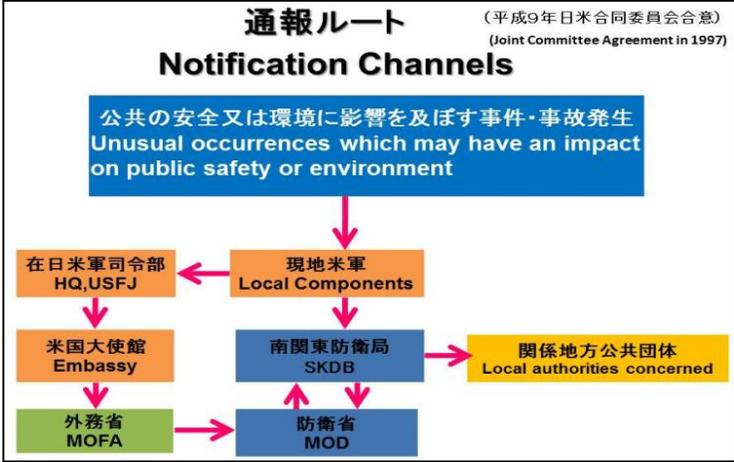
神奈川県基地対策課 館野グループリーダー



南関東防衛局 長谷川管理部長



在日米海軍司令部 ニーマイヤ政務補佐官



通報等訓練概略図 Flow Chart of Drills



南関東防衛局では、航空事故が発生した場合の通報体制が迅速かつ効果的に機能するよう、四半期毎に通報訓練を実施しております。

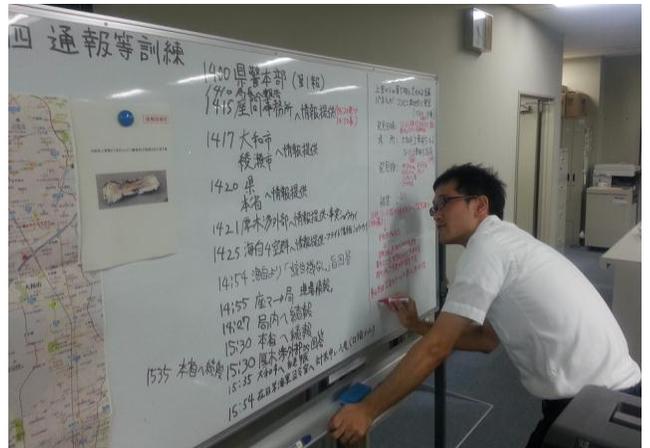
通報訓練においては、ヘリコプターの不時着、航空機からの部品落下などを想定し、情報収集、情報伝達等の初動対応を行っています。

当局は、このような訓練を今後も継続し、万一の際の迅速な事故対応に努めてまいります。

南関東防衛局による
通報訓練の実施



局職員による通報訓練:関係者への電話 (左・中)



事故概要等をホワイトボードに整理している様子 (右)



警察による事故現場の立入規制

2月18日、米海軍厚木航空施設内において、日米ガイドラインに基づく実動訓練が実施されました。

この訓練は、神奈川県警察本部が主催したもので、米軍が使用している施設区域外で米軍航空機事故が発生した場合に、日米関係機関連携の下、迅速かつ的確な初動対応を実施することを目的に行われ、消火、救出救助活動の連携のほか、事故現場に内周、外周の二重の規制線を設定し、事故対応に当たることを確認するものです。

訓練には、神奈川県警察のほか、米軍、自治体及び南関東防衛局が参加しました。

日米ガイドラインに基
づく実動訓練への参加



訓練への参加者一同



消防隊による消火訓練



「池子の森自然公園」が開園

2月1日、逗子市が共同使用している池子住宅地区及び海軍補助施設の約40ヘクタールの土地等において、「池子の森自然公園」が開園しました。

これに先だって、1月31日には、開園記念式典ならびにオープニングイベントが開催され、当局から、丸井局長が参加し、平井逗子市長、グレニスタ米海軍横須賀基地司令官とともに、開園を記念してテープカットを行いました。



来賓によるテープカット



為末さんと記念撮影

元陸上選手の為末さんも参加した公園内のランニングには、丸井局長をはじめ、当局のジョギングクラブからも多数参加し、汗を流しました。

在日米海軍司令官の着任挨拶

3月5日、在日米海軍司令官に着任したカーター米海軍少将が南関東防衛局を着任挨拶のため訪れました。カーター少将は第33代在日米海軍司令官の他、米海軍日本管区司令官も兼任します。

カーター少将にとって、今回は日本での2回目の任務となります。直近の任務である哨戒偵察群司令官ならびに太平



洋哨戒偵察群司令官に就任する以前、カーター少将は米海軍厚木航空施設に司令部を置く第72任務部隊司令官として勤務していました。

カーター少将は丸井局長を始めとする当局関係者と懇談し、今後の緊密な協力を確認しました。



丸井局長とカーター少将

山中湖村庁舎耐震改修工事

民生安定施設に係る助成（補助金）を活用して平成27年7月から改修工事が進められていた「山中湖村庁舎」が完成し、平成27年1月28日、地元関係者等が多数出席する中、竣工式が行われました。



山中湖村庁舎全景

本山中湖村庁舎は、当省補助金を活用し、昭和55年度に整備され、以後約35年にわたり山中湖村行政の拠点施設としてその機能を発揮してきましたが、複雑・多様化する住民ニーズの変化への対応、また、災害時においては防災拠点としての機能が求められるようになり、事務室等の改修、建物内の設備の新設・更新及び耐震改修などの工事を実施したものです。

この改修工事の完成により、従来に増して、村民交流及び防災拠点施設として利活用されることが期待されます。



スピーチを行う丸井局長

中型掃海艇「はつしま」引渡式

3月19日、ジャパンマリンユナイテッド株式会社横浜事業所鶴見工場において、中型掃海艇「はつしま」（平成23年度契約、570トン型）の引渡式が行われました。

当日は、防衛省代表として海上自衛隊 井上横須賀地方総監、南関東防衛局 丸井局長をはじめ多数の防衛省関係者、会社関係者など約200人の人々が見守る中、引渡式が行われました。

「はつしま」は、FRP製（繊維強化プラスチック）を採用した「えのしま型」の3番艇となり、平成24年4月26日に起工、平成25年12月6日に進水を経て平成27年3月19日に引き渡されました。



中型掃海艇「はつしま」引渡式

護衛艦「いずも」引渡式

3月25日、ジャパンマリンユナイテッド株式会社横浜事業所磯子工場において、護衛艦「いずも」（平成22年度契約、19,500トン型）の引渡式が行われました。

当日は、晴天に恵まれ、防衛省代表として中谷防衛大臣、武居海上幕僚長、南関東防衛局丸井局長をはじめ多数の防衛省関係者、会社関係者など約600人の人々が見守る中、引渡式が行われました。

護衛艦「いずも」は、海上自衛隊史上最大級のヘリコプター搭載護衛艦（DDH）であり、多様な任務に対応するため、船体の大型化を図り、航空機運用機能や大規模災害対応能力などを強化しております。

本艦は、平成24年1月27日に起工、平成25年8月6日に進水を経て平成27年3月25日に引き渡されました。



護衛艦「いずも」

防衛大学校卒業式

3月22日、神奈川県横須賀市に所在する防衛大学校で卒業式が行われ、将来の自衛隊を担う第59期の本科学学生492人が巣立ちました。そのうち、自衛官となる任命数は計442人で、陸上自衛隊に223人、海上自衛隊に118人、航空自衛隊に101人がそれぞれ任官することになります。卒業生には、カンボジア、インドネシア、モンゴル、フィリピン、タイ、東ティモール、ベトナムからの留学生20人が含まれています。

この式典には安倍晋三総理大臣、中谷防衛大臣も出席し、卒業生に対する訓示を行いました。また、安倍総理らが見守る中、卒業生が帽子を投げる「帽子投げ」が行われました。



恒例の帽子投げ



安倍総理大臣



中谷防衛大臣

南関東防衛局
ルーキー紹介 その3

昨年の春から南関東防衛局の一員となった11名のルーキー達。それぞれの職場で活躍する彼らを紹介いたします。

調達部 設備課



岩崎 亮太 *Iwasaki Ryouta*

出身地：宮崎県
長所・短所：元気。優柔不断。
趣味等：ランニング、サッカー
今後の抱負：まだ分からないことが多いですが、これから1日でも早く業務を覚えていきたいと思っています。

調達部 設備課



松永 晃介 *Matsunaga Kosuke*

出身地：熊本県
長所・短所：臨機応変に対応できること。物事を相手に伝えることが苦手なこと。
趣味等：将棋
今後の抱負：同僚、上司の方々と協力し、一日でも早く仕事を覚え、自分が出来る限りのことを精一杯頑張っていきたいと思っています。

調達部 設備課



渡部 政信 *Watabe Masanobu*

出身地：福岡県
長所・短所：粘り強く最後までやり遂げる。
口下手。
趣味等：野球観戦、ドライブ
今後の抱負：職員だけでなく、業者の方からも信頼される監督官になりたい。

表紙の写真

横浜市山下公園は南関東防衛局が位置するみなとみらい地区に隣接し、観光地としても有名です。

四季を通じて観光客が訪れますが、春は公園内のソメイヨシノが咲き誇る桜の名所で、多くの方が訪れます。



イベント情報

米海軍厚木基地「日米親善春まつり」

毎年恒例の「日米親善春まつり」が、2015年5月2日(土)、米海軍厚木基地で開催されます。開門は10時から17時30分です。

「春まつり」では米海軍厚木基地が一般開放され、航空機や施設を見学したり、屋外で飲食することができます。航空機がフライトする飛行展示はありませんが、機体を至近距離で見学できます。

基地内では、アメリカ海軍、海上自衛隊の航空機地上展示、飛行隊グッズの販売、アメリカンフード等のブースが出展されます。

なお、入場は、日本国民を証明できる写真入りの身分証明書の提示が必須で、運転免許証をお持ちの方は合わせて本籍地記載の住民票が必要です。



交通：相模鉄道本線 さがみ野駅より徒歩20分
相模鉄道本線 相模大塚駅より徒歩23分
またはバスで5分